

これからの福祉・相談支援で役に立つ

多文化ソーシャルワーク講座

地域で暮らす外国籍住民が増える中で、出産、子育て支援をはじめ、福祉が必要な人や家族も増えています。言葉の壁、制度の壁、どう配慮していいかわからないという心の壁を克服して、誰もが当たり前の福祉が受けられるようにするにはどうすればいいでしょうか。

在留資格と福祉制度の関係、宗教や文化への配慮の仕方、通訳や外国人ピアサポーター、外国籍コミュニティの力の活用、他機関との連携、など通常の福祉の知識に加えて多文化ソーシャルワークを学んでおけば、そして、いざというとき連携できる仲間をつくっておけば、できることが増えます。



参加費
無料

8月21日～12月17日までの全12回
(部分参加可能) 各回14:30～16:30

会場は水戸またはつくば
(オンライン参加可能)

様々な相談場面で直面する次のような疑問について、全国で最先端の実践をしているひとたちが具体的に取り組み事例を説明します

言葉が通じない時、制度をどうわかるように伝えるか
困っている状況をどう聞き取るか
宗教や文化にどこまで配慮すればいいか、
在留資格によって対象になる福祉制度はどう異なるか
通訳はどう確保すればいいか
複雑なケースでどう他機関と連携できるか
つかえる制度が見つからないとき、どうすればいいのか

講座の詳細



申込みはこちら



主催 独立行政法人国際協力機構(JICA)筑波センター
企画・運営 認定NPO法人 茨城NPOセンター commons

この講座は「外国人ピアサポーターとの連携による地域の福祉・教育・行政サービスの向上に向けた多文化共生プログラム(2023年度 JICA NGO 等提案型プログラム採択案件)として実施します

電話: 0297-44-4281
FAX: 0297-44-4291
電子メール global@npocommons.org